

農業のあり方・品目等に焦点をあてたモデル

有機農業モデル

◆ モデルの概要

地形条件上小規模経営であり、多面的機能の維持が重要な役割を担う中山間地域農業に適した、有機農業に取り組むモデル

◆ 想定される地域

- 有機農業に力を入れている地域
- 有機農業者が多い地域

◆ 想定されるターゲット

- 環境問題や食の安全・安心に対する関心が高い人

【参考事例】兵庫県宍粟市

一宮町山田地区

- 農家1戸あたりの耕地面積は40.5a、一筆当たり平均耕地面積3.7aで、全ての農家が兼業農家の典型的な中山間地域。
- 雨よけハウスの導入や、有機農業を原則とした貸し農園を開園。
- 町として、国や県の補助事業の活用や農業生産基盤の整備、地域活性化施設の整備、鮮度保持のための中古の仮設コンテナを2台購入。

特産品保全モデル

◆ モデルの概要

地域の特産品を後生に残していくため、兼業を含めた新たな担い手を確保していくモデル

◆ 想定される地域

- 特産品が存在し、生産量・生産者の減少に悩む地域

◆ 想定されるターゲット

- 地域に根ざした農産物の生産に興味がある人
- 地域貢献に協力したい人

【参考事例】小値賀町担い手公社

(長崎県)

- 本島の属島の特産品だった落花生、高齢化で生産量が少なくなる一方、テレビをきっかけに落花生を求める声が高まる。
- 本島でも2012年に「マメな島の豆プロジェクト」として、本格的に栽培を開始、栽培から加工までほぼすべての工程を担い手公社が担う。
- 公社が手がけるプロジェクトに魅力を感じ、島外から移住する若者も増加。

スモール・スマート農業モデル

◆ モデルの概要

中山間地域特有の傾斜地や小区画の農地に適したスマート農機や小型農機を活用し、省力化を実現するモデル

◆ 想定される地域

- 人手不足が著しい地域
- 新技術に対する関心が高い地域

◆ 想定されるターゲット

- 農業以外の本業があり、限られた時間の中で農業に関わりたい人

【参考事例】春野耕作隊（静岡県）

- 誰でも簡単に使えて、小回りの効く小型農機をシェアリングし、費用対効果を高めている。
- 導入以前 : 9割現場
導入後 : 6割現場、4割が販促や事務仕事

加工・販売モデル

◆ モデルの概要

地域の農産物を活用して、加工・販売に取り組むモデル

◆ 想定される地域

- 加工や販売に利用できるような施設がある地域

◆ 想定されるターゲット

- 自らが栽培した農産物を加工・販売し、経営者として携わりたい人

【参考事例】馬路村のゆず（高知県）

- 高知県はゆずの生産量国内シェアの5割を占め、馬路村は村内で収穫から加工まで手がけた商品の開発などで、ゆずの魅力を全国に広めた先駆け。
- 人口800人の村で年間30億円を稼いでいる。実に村にある390世帯の内、半数を超える200軒ほどがゆず農家で、そのほとんどが兼業農家。
- 村民の50倍にあたる観光客を呼び込み、過疎に歯止めをかけている。

地域おこし協力隊制度活用モデル

◆ モデルの概要

地域おこし協力隊として、農業に従事し技術を習得したり、地場製品の開発・販売・PR等に関わったりする経験を経て、任期終了後にその土地に定着するモデル

◆ 想定されるターゲット

- 転職を考えている人
- 初期費用を抑えて農に関わりたい人
- 収入面で不安を抱えている人

◆ 本県の制度活用事例

- 大田原市（有機農業）
- 茂木町（観光農園）
- 塩谷町（スプレー菊） 等

【参考事例】北海道新冠町

- 受入れた地域おこし協力隊を「農業支援員」として、様々な農家に派遣。
1年目：派遣先の農家での体験
2年目：自分が希望する作目を選択して農業研修
3年目：就農予定地の農地調査や、本格的な就農に向けた研修
- これまでに13名の支援員を受入、10名が独立就農、1名が雇用就農。

農業バイトモデル

◆ モデルの概要

隙間時間を利用して、農業バイトを通じて農業に触れ合うモデル

◆ 想定されるターゲット

- 主婦や学生など、フレキシブルな働き方の中で農業に関わりたい人

◆ 本県で利用できる主なマッチングシステム

- 正社員・アルバイト（中長期）
⇒とちぎの農業で働こう！（JAグループ栃木）
- 臨時雇用（日雇）
⇒daywork

【参考事例】JAグループ北海道「パラレルノーカー」

- 2021年に本格始動した、他の本業を持つ人や主婦、学生など、本業と並行して気軽に農業ができる取組。
- 希望者は特設サイトにある各求人サイトを通じて、農家とマッチング。
- 初年度は294名がマッチング。



季節雇用モデル

◆ モデルの概要

冬期業務が少ない農業者と、冬期に人手を必要とする業種をマッチングするモデル

◆ 想定されるターゲット

- 転職を考えている人
- 農以外の部分で安定した収入を求める人

◆ 本県で農業と組み合わせられる仕事

- いちごやトマトなど冬期に作業があるバイト
- 観光業（温泉、スキー場等）
- 酒造会社 等

【参考事例】半農半蔵人（島根県）

- 酒の仕込み時期の11月頃～翌年3月頃の季節雇用。
- 農業振興公社が、求人のある酒造会社を紹介。
- 「農」の部分は県の半農半X支援事業で、経営初期の経費や施設整備の助成を行っている。

特定地域づくり事業協同組合制度活用モデル

◆ モデルの概要

特定地域づくり事業協働組合の派遣先の業務の1つとして、農に関わるモデル

◆ 想定されるターゲット

- 転職を考えている人
- 様々な仕事を通じて自分の向いている職業を見つけない人

◆ 県内の事例

もてぎマルチワーク事業協同組合

- ・ 設立 : 令和5(2023)年1月30日
- ・ 事業開始 : 令和5(2023)年4月
- ・ 主な派遣先
株式会社もてぎプラザ（接客・調理等）
株式会社美土里農園（イチゴ栽培等）
芳賀地区森林組合（下草刈り等）ほか

特定地域づくり事業協同組合制度とは人口急減地域におけるマルチワーカーに係る労働者派遣事業等を言い、条件を満たした場合に組合運営費について財政支援を受けられる総務省の制度。

【参考事例】島根県安来市特定地域づくり事業協同組合

- 採用する派遣職員と派遣先には、3年後の直接雇用となることを了承を得た上で、取組を進めている。
- 実際、派遣職員1名が派遣先の1つであった集落営農組合に、双方の希望により、正職員として直接雇用された。

農業以外の仕事に焦点をあてたモデル

農業×農泊モデル

◆ モデルの概要

自身が生産した農産物を食事に提供したり、中山間地域の豊かな地域資源を活用した体験等を農泊のプログラムに取り入れたモデル

◆ 想定される地域

- 農村風景が美しい地域
- グリーン・ツーリズムに取り組む地域

◆ 想定されるターゲット

- 転職を考えている人
- 人との交流が好きな人

【参考事例】大田原ツーリズム

- 2012年設立、現在大田原市内を中心に近隣4市町で農家民泊180件程度を有し、団体旅行への農業体験や自然体験を提供。
- 教育旅行では、1軒の農家さんで、4～5人のグループを受け入れてもらっている。
- 有形文化財を改修し有形文化財ホテル飯塚邸を運営し、国内外の個人旅行を誘客。

農業×漁業モデル

◆ モデルの概要

漁業に取り組みながら、農業にも関わるモデル

◆ 想定されるターゲット

- 釣りや河川環境に興味があり、農業にも携わりたい人

◆ 県内の事例

- 釣りが趣味だったAさんは、地域おこし協力隊への参加を機に本県に移住し、漁協活動に参加。地域の産物を活用した特産品の開発にも取り組んでいる。

【参考事例】奥松島果樹生産組合 いちじくの里（宮城県）

- のり養殖業を主とする地区住民8名で平成27年4月に設立。
- 東日本大震災で、水田の復旧に多額の事業費が見込まれたことから、のりの閑散期である4～10月が作業の中心である果樹栽培に取り組始める。
- 使わなくなった漁網を獣害防止ネットとして活用。

その他のモデル

農産物直売所出荷モデル

◆ モデルの概要

本業の傍ら自ら育てた農産物を地域の直売所に出荷することにより、直売所の出荷者数、取扱い品目数等の維持が図られるモデル

◆ 想定される地域

- 直売所の出荷者数等に悩む地域

◆ 想定されるターゲット

- 自ら作った農産物を販売してみたい人

【参考事例】JAはだの（神奈川県）

- 園主農家の指導付きで年間20種類の野菜栽培が可能な体験型農園において、開設準備や施設設置費、利用者募集の面などを支援。
- 遊休農地を借り受け、市民農園を開設、利用者はJAの准組合員になれば、栽培した野菜をJAの直売所に販売可能。
- 約270人の利用者のうち、80名がJAの准組合員になっている。

農業×農村風景を守るモデル

◆ モデルの概要

棚田やはざかけなどの農村がおりなす景観を守るための人を増やすモデル

◆ 想定される地域

- 後世に残したい農村の風景が残る地域

◆ 想定されるターゲット

- 収益性や効率化よりも、農産物ができるまでの過程やおりなす風景に価値を見いだす人

【参考事例】山村塾（福岡県）

- 環境にやさしい米づくりや、豊かな生態系の森づくりを通じて、山村の環境を守る活動とその活動を支える交流や人づくりを行っている。
- アイガモを利用した米づくりに年間を通じて携わることにより、食糧の自給と棚田の保全を目指している。
- 餅つき・しめ縄づくり、どんと焼きなどの季節を感じる体験も提供している。